

ひとあいえどがわ

江戸川総合人生大学発



No.7

発行／江戸川総合人生大学
編集／「ひとあいえどがわ」
編集委員会
発行日／2008.08.09

新しい学問の創造に向けて

江戸川総合人生大学 子ども支援学科 学科長
三輪建二



「総合人生大学という新しい市民大学を創設したいので、専門の生涯学習の立場からアドバイスをいただけないか」研究室を訪ねて下さった

江戸川区の職員と意見交換し、大学の構想やプログラム案を出しているうちに、いつの間にか学科長の肩書きがついてしまっていた。私と江戸川総合人生大学との出会いは、このようなものでした。

子育て・子育ち支援についての専門家ではないので、学科長のポストについてしまってよいのかという不安ととまどいは、今もなお消えていませんが、何でも本音で語り合える事務局の方々の強力なサポートもあり、今日までなんとか役職を務めています。

続けてきて本当によかったなと思う瞬間は、学生たちの積極的なディスカッションの場面に出会えるときです。勤務校のお茶の水女子大学では、子育て・子育ち支援、学校支援ボランティア等について説明し、学生はひたすら板書するという授業になりがちですが、子ども支援学科ではそうはいきません。説明の後では「自分の子育てのときはこうだった」「ボランティアではこんな体験でした」と、経験や体験に裏打ちされた意見がポンポンと飛び交い、先生を押しのけて参加者同士でディスカッションが展開されることもあります。「先生、前のときの説明と矛盾するんじゃないですか」「今の説明は抽象的で分かりにくいです」といった励まし（？）の言葉もいただき、思わずたじたじとなることもあります。

経験や体験を踏まえたこのような意見交換の中から、ひょっとすると、今までにない「子育て支援学」なる学問が生まれるのではないか。大学の学問よりも具体的で血が通っていて、現実の裏づけがあり、学際的な学問が、この江戸川の地で産声を上げ、日本、いや世界に向けて発信していくのではないか。最近はそのように思いながら、うきうきと授業に参加させていただいております。

今年10月から始まる第5期生を募集しています。7月にオープンした「篠崎文化プラザ」で、仲間とともに学ぶ楽しさを実感しませんか？

新入生募集中！

学科名	授業（30回／年）	主要テーマ
江戸川まちづくり学科	金曜日 14:00～16:00	まちづくり
国際コミュニティ学科	水曜日 14:00～16:00	国際交流・外国人との共生
子ども支援学科	木曜日 9:30～11:30	子育て支援・地域教育
介護・福祉学科	火曜日 14:00～16:00	地域と高齢社会

【申し込み資格】 区内在住・在勤・在学の方。年齢制限はありません。

【修学期間】 2年間 【授業料】 3万円（1年間）※テキスト代や交通費等は自己負担となります。

【申し込み】 区役所・各事務所・図書館・コミュニティ会館などで配布している「入学案内」に添付されている入学願書に作文を添えて、江戸川総合人生大学推進室（江戸川区篠崎町7-20-19）へ郵送してください。

人
生
大
学

地域のために自分を活かしてみたい。江戸川総合人生大学はそんな人のために江戸川区が開設した区民のための大学です。現在、1年生と2年生合わせて約180人の学生が、熱心にそれぞれの目的や課題に向けて授業に取り組んでいます。（*学校教育法等で定める正規の大学ではありません。）

地・域・と・つ・な・が・り

江戸川まちづくり学科 〈市民ガイドのリハーサル〉

江戸川まちづくり学科には、1年次が“手作りえどがわ講座”、2年次が“市民活動の実践的研究(卒業研究)”という将来の市民活動のために、学生が主体的に行う授業があります。

今回は、『散歩じっくりまち歩き』をテーマに卒業後の自主活動の展開に結びつける実践的な卒業研究に取り組んだ「江戸川ガイドグループ」を紹介します。

今回は「古川親水公園」の歴史や公園周辺の史跡を研究し、研究発表にあたっては区民へのガイドを会員9名が役割分担で行いました。卒業後の活動の

国際コミュニティ学科 〈区議会議員との交流会〉

私たちが取り組んだ課題研究を本当に実りある活動にするには、地域還元することが重要で、そのためには、議員各位との交流が第一歩と考えました。

われわれの主旨にご賛同くださった議員25名と6月4日(水)区役所第5委員会室で課題研究発表と意見交換会を実施しました。

◎ 課題研究

1. 江戸川区の国際化とコミュニケーション
2. インド社会・中国社会を調べて
 - ① アジアの教育事情
 - ② 中国コミュニティについて

ために、ガイドボランティアの登録を行い、地元古川まつりに参加したり、古川ガイドマップの作成も計画しています。授業後の講評で、先生よりガイド実践体験の提案がありました。

そこで、7月11日(金)午後1時30分より「第1回 散歩にどうぞ・江戸川ガイドグループ」と題し、散歩コースのガイドを古川親水公園で実施しました。当日は、梅雨の晴れ間に恵まれ、4期生を含め21名の参加がありました。

「江戸川ガイドグループ」は、ガイド役を交代しながら、卒業研究の成果を実践し、楽しいリハーサルとなりました。初めての体験で、予定時間をオーバーしてしまいました。

写真：ガイドメンバー松丸さんご主人【まちガイドの様子】

平成19年12月現在、江戸川区外国人居住数23,083人(3.44%) そのうち中国人が一番多く、約9,000人(41.8%)である。平成25年には5%を超えるとデータを基に発表しました。

また、アジアの教育比較では、ある議員から「驚くべき豊富な資料、新しい視野が開けた」と賛辞をいただきました。われわれの『有識者会議設置』提案に対して、「積極的に区議会に働きかけたい」と心強い意見も頂きました。

多忙中にもかかわらず、ご傾聴、率直かつ貴重なご意見をいただいた議員各位に感謝申し上げます。われわれ一同微力ながら、多文化共生の一翼を担えたらと思う次第です。

(国際コミュニティ学科3期生 矢作弘子)



【意見交換会の様子】

「エコタウンえどがわ」をめざして～みんなあつまれ～ もったいない！その水捨てずに打ち水ね！

えどがわエコセンター 学校環境学習助っ人募集！

夏です！今年もエコセンターでは区内さまざまな地域での打ち水作戦をサポートします。「打ち水」は使った水をすぐに流してしまうのではなく、庭木や地面に撒くなど「リユース・再使用」する、暮らしの知恵です。世界中でエネルギー危機が叫ばれていますが、エコセンター会員企業でもある「東京ガス東部支店」や「エネスタ」が、地球温暖化防止を願って地域を挙げた「打ち水作戦」を企画しています。このイベントを手伝ってください！そしてあなたも、思いっきり水を撒いてください。

とき：8月25日(月)14時30分準備開始
15時00分打ち水開始
会場：エネスタ江戸川中央(江戸川6-18-4)
問い合わせ：東部支店(☎3633-4993川名)
またはエコセンターまで

打ち水大作戦に集まろう！



【第二松江小学校ヤゴ救出作戦】



〈ヤゴ〉

地・域・へ・広・が・る

子ども支援学科 〈最終の仕上げに向けて〉

2年間の学びが間もなく終了します。

課題論文制作に先立って、中間発表がありました。その中で子どもは小さくても一人前であること。親や地域の子どもとのかかわり方。さらには学ぶことは生きていく力であることなど、改めて痛感することしきりでした。

コミュニケーションの達人は、話すことよりも聴く姿勢が優れています。単なる情報の伝達ではなく、人と人の関係づくりであると実感しました。三輪学科長から、「聞き上手」とのお褒めをいただきました。その中でつく

介護・福祉学科 〈卒業研究発表参観記〉

6月17日、24日に介護・福祉学科3期生の卒業研究発表が行われ、私たち4期生は2年次への不安と期待の気持ちで両日参加しました。

各個人・グループ11組の発表は、さすが2年間の集大成で、驚きと感動の4時間でした。今日までの実践の資料を短時間にまとめられての発表は、どれだけ大変な取り組みであったことか計り知れない努力の跡が伺えました。

◎主な研究発表のテーマ
・認知症への取り組み
・介護予防についての江戸川区の現状

り上げた3期生の仲間たちとの関係ができる限り続けていきたいです。

- ・子どもは小さくても一人前
- ・子ども達に寄り添えることは何だろう！
- ・私たち大人ができるることは何か？

などをテーマに各自が悩み苦しみながら取り組んだ課題論文も完成し、大学祭では様々な角度から学んだことを展示し発表していきます。

(子ども支援学科3期生 高森敬子)
(子ども支援学科4期生 住谷信夫)

一緒に
学びましょう！



【子ども3期の中間発表】



言葉が心に残るとともに、私たちの次年度の地域活動や取り組みに大きなパワーとなりました。

(介護・福祉学科4期生 市川孝子)
(介護・福祉学科4期生 勝倉洋子)



【「杜(もり)の会」スタッフ】
【住所】西葛西5-7-8
第2ドミール森田404号



ボランティアセンター ボランティア講座のご案内（2008年9月～11月）

ボランティアセンターでは、ボランティアを始めてみようという方のための入門講座などを開催しています。皆さんの受講をお待ちしています。詳細はホームページをご覧ください。→ <http://www.vc.city.edogawa.tokyo.jp/>

《お問い合わせ先》ボランティアセンター 電話：5662-7671

講座名	内容	開催時期
音訳ボランティア養成	視覚障害者のために録音資料を作る方法等を学びます。	9月～／全10回
初心者のための手話	初步的な手話を学びます。	9月～／全10回
ボランティア入門	様々な分野の活動を紹介・体験する、ボランティアを始めるきっかけ作りの講座です。	10月～



旬な話題

篠崎ビオトープへ行こう！

7月12日(土)篠崎ビオトープが誕生した。

えどがわ自遊樂校～「みずとみどりの寺子屋」を主宰する、重杉 浩さんたちの尽力で、自然環境を身近に観察できる素敵なスポットがまた一つ完成した。完成という表現は当らないかもしれない。なにしろ、自然の蘇生していく力を人間が踏みつけたり、痛めつけたりしないことで刻々と変化していく自然からのメッセージを学んでいく場所なのだ。江戸川への水路には、タナゴやボラの子、手なが海老もいる。

きっかけは「川サミット」。国土交通省、江戸川区そして民間の有志たちの熱い思いが実現させた価値ある自然の教材となった。マコモの里帰り式のあと、オオヨシキリのさえずりが心地よく響く葦の茂みに分け入り、ネイチャーゲームでこの江戸川河川ゾーンの水棲生物の実態を観察する。環境省が絶滅危惧種に指定している希少植物・ミゾコウジュも可憐な花をつけていた。

家族で図鑑をともない散策するのもいい。雨降りのそぞろ歩きも楽しみだ。何度も足を運び、観察記録をつけると野の草花が一段と身近に感じられる。ただし、江戸川本川に注ぐ湿原地帯は十分注意をしていただきたい。できれば子どもだけでの観察や散策は止め、大人の同伴を心がけてほしい。

同窓会の窓

江戸川総合人生大学オープンキャンパス2008に参加して

7月6日、7日の両日にわたり開催された「オープンキャンパス 2008」に、同窓会を挙げて参画。卒業後も澆刺とした活動を続けている様子を「パネル」で展示。「人生大学」での学びで得た知識と、体験を生かした日常や地元の人たちとの楽しいふれあいなど、地域に根ざしたボランティア活動の数々を紹介。新入生応募の糸口になれば幸いである。出展はすきま南風、花ステーション研究会、江戸川グリーングリーン、モニュメント6、江戸川アリストの会、パソコンサポートの会、国際江戸端会議、スクールサポーターゆうほ、どんぐり、小岩ほほえみの会、葛西ほほえみの会の11団体。今後とも一層のご支援、ご協力を。

トピックス

韓国のテレビ局から取材を受けました

去る6月6日（金）、韓国テレビ局からの取材が江戸川総合人生大学にありました。お隣、韓国でも高齢者の問題が大きく取り上げられており、先進的な取り組みをしている日本の取材に訪れたものです。

当日授業のあった江戸川まちづくり学科4期生の授業風景と、佐谷学科長・学生のインタビュー、事務局から大学趣旨の説明、卒業生等のインタビューを行いました。通訳を区民教授の霜島和子先生にお願いしました。

韓国では儒教の考えが強く、ある程度の年齢になると、あまり動かないのが美德とされているため、この番組を通じて、高齢者の方にもっと社会と関わりをもって欲しい、という思ひがあるとのことでした。放映された番組内容は、大学祭等で皆さんにご紹介する予定です。

先生を紹介します

介護・福祉学科
矢郷恵子(やごうけいこ)先生



作画：竹重真紀子

趣味で今、真剣になっているのが囲碁。近所にリタイアした方が開いた碁会所があり、ひょっこりと顔を出し、すっかり嵌りました。

まだ一年目ですが面白いです。盆暮れに家族で楽しんでいたので麻雀も好き。渋谷に「ガラパゴス」という健康麻雀では草分け的なクラブがあり、ここでは70、80代の方が本当にうまい！「この方、寝てるの？」という方が突然「ロン」で、トップだったりして（おうー）。

お話しをすると60代で覚えたという女性も多くいます。私が碁を始めたひとつが、老いてコミュニケーションの方法を豊かにしたかった。碁も麻雀も相手がいて成立する。知らない方と向かい合う機会が増え、勝ち負けを通して人間らしい一面に触れる。それがやっぱり、いいのです。



お知らせ

【春の叙勲に子ども支援学科学生が】

2008年春の叙勲で、子ども支援学科4期生の大曾根陽子さんが長年にわたる民生・児童委員としての功績を認められ、瑞宝単光章を受章されました。おめでとうございました！なお、大曾根さんは本紙の編集委員もあります。



「ひと あい えどがわ」編集委員

【3期生】塗間樹、竹重真紀子[江] 高島卓、矢作弘子[国] 高森敬子、渡邊佳保里[子] 松岡滋子、植草良子[介]

【4期生】後藤文夫、寺久保好子[江] 秋元直美、木村裕子[国] 住谷信夫、大曾根陽子[子] 勝倉洋子、市川孝子[介]

【編集協力】品田正子[パソコンサポートの会]

掲載記事に関するお問い合わせは／江戸川総合人生大学事務局【電話：03-3676-9075】まで

素敵な情報を待っています

「ひと あい えどがわ」は江戸川総合人生大学発の、区民と学生を結ぶ情報紙です。ユニークな活動をしているグループ、是非取り上げて欲しいグループなどありましたら、江戸川総合人生大学事務局までご連絡ください。